

ビジュアル

日本の**服装**の歴史 全3巻



[監修] 増田美子 学習院女子大学名誉教授

- ①● **原始時代～平安時代** 2018年7月刊行予定
[著] 増田美子 ISBN978-4-8433-5218-2
- ②● **鎌倉時代～江戸時代** 2018年9月刊行予定
[著] 大久保尚子 宮城学院女子大学教授 ISBN978-4-8433-5219-9
- ③● **明治時代～現代** 2018年5月刊行予定
[著] 難波知子 お茶の水女子大学准教授 ISBN978-4-8433-5220-5

2018年5月
刊行開始

●各巻定価：本体2,800円+税
(揃定価：本体8,400円+税)
ISBN978-4-8433-5217-5 C0639
B5判上製/オールカラー
カバー装/平均54頁

本書のおもな特色

- 独自の発展をとげてきた日本の服装のあゆみを豊富な写真をまじえオールカラーで紹介。
- 3つの時代に分け、それぞれの時代の状況をわかりやすく解説。
- 服装を通して、日本の習俗や風習、職業などの歴史も学ぶことができる。
- 各時代のスタイルや外来文化の流入などの変遷をビジュアルに理解できる。
- 素材や、機能などにまつわる面白いエピソードも紹介。

好評発売中

ビジュアル日本の**鉄道**の歴史

全3巻 梅原 淳 著 B5判上製/オールカラー
●各巻定価：本体2,800円+税 ISBN978-4-8433-5118-5 C0665

日本人と**動物**の歴史

全3巻 小宮輝之 著 B5判上製/オールカラー
●各巻定価：本体2,800円+税 ISBN978-4-8433-5221-2 C0639

ビジュアル日本の**お金**の歴史

全3巻 井上正夫/岩橋 勝/草野正裕 著 B5判上製/オールカラー
●各巻定価：本体2,500円+税 ISBN978-4-8433-4793-5 C0633

ワクワク!! **ローカル**鉄道路線

全6巻 梅原 淳 著 B5判上製/オールカラー 2018年6月刊行開始
●各巻定価：本体2,400円+税 ISBN978-4-8433-5328-8 C0665

ゆまに書房 YUMANI SHOBOU

〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL .03 (5296) 0491
FAX.03 (5296) 0493
http://www.yumani.co.jp/
e-mail eigyou@yumani.co.jp

● **特におすすしめします** 小学校高学年から一般の方まで。
学校図書館、公共図書館など各種図書館など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日	
ビジュアル 日本の服装の歴史 全3巻	取
揃定価：本体8,400円+税 ISBN978-4-8433-5217-5 C0639	部
①原始時代～平安時代 定価：本体2,800円+税 ISBN978-4-8433-5218-2	部
②鎌倉時代～江戸時代 定価：本体2,800円+税 ISBN978-4-8433-5219-9	部
③明治時代～現代 定価：本体2,800円+税 ISBN978-4-8433-5220-5	部
お名前	TEL ()
ご住所	

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

18.04/01.50000.FR

※表紙図版：土偶(著保内野遺跡出土・国宝/写真提供・函館市教育委員会)

全3巻

服装の発展が
ビジュアルで
楽しくわかる！

ビジュアル

日本の**服装**の歴史

監修 増田美子
著者 大久保尚子
難波知子
増田美子



ゆまに書房

世界でも独自の発展をとげてきた、日本の服装の歴史をビジュアルに解説。

日本の服装は、時代、地域、性別、年齢、階級、職業等によって異なります。縄文時代の貫頭衣、古墳時代は騎馬民族の影響を受けた服装、奈良時代の中国の唐風の服装……。そして平安時代の国風化の流れの中で、日本独自の服装が生まれ、それがやがて今の和服へと形を整えていきました。日本は長い鎖国政策をとっていたこともあり、世界でも独自の歴史をたどりました。本書では、この特異な日本の服装の歴史を、そのスタイルが大きく変遷する3つの時代ごとに分け、性別、年齢、階級および職業などを総合的に考え合わせながら各時代のあゆみをたどります。小学校高学年から一般の方まで楽しく学べるよう、図版や写真を豊富に取り入れビジュアルにわかりやすく編集しました。

大正元年頃の通字服
(お茶の水女子大蔵)



I ヨーロッパ・アメリカの洋服をお手本に

【1】新しい国づくりは洋服で

明治時代は、ヨーロッパやアメリカの進んだ技術・文化を取り入れて、国の政治や社会のあり方を大きく変えていった時代です。江戸時代には鎖国の政策がとられていましたが、嘉永6年(1853)にアメリカ人のペリーがひきいる黒船が神奈川県の浦賀にやってくるから、世界の国々にと条約を結び、開国していきます。黒船をはじめて見た日本人は、もくもくと蒸気あげる大きな船におどろ

き、おそれ、善の向こうの国々にの進んだ文明を学びはじめます。

開国についても、ヨーロッパやアメリカの洋服を取り入れていきます。最初に洋服を取り入れたのは、軍隊の着る軍服です。文明の進んだ国々に攻めこんできたとき、すぐさま戦えるように、まず軍隊を整備しなければなりません。その軍隊では、素早く体を動かすことのできる機能的な洋服が適して



幕末の参謀

いました。幕末から各藩がそれぞれ洋服の軍服を導入しましたが、維新後の明治3年(1870年)には国の軍隊が組織され、フランスにならった陸軍の軍服と、イギリスにならった海軍の軍服が定められます。

ところで、幕末に日本が各国と結んだ条約は、日本が法的にも経済的にも不利となる条約を含んでいました。そうした不平等条約を改定するために、岩倉具視らは海を渡り、アメリカやヨーロッパの国々にと交渉をします。こうした国際的な交渉の場面では、西洋式の洋服を着用することが、対等な関係を築くうえで重要と考えられました。そこで、明治5年(1872)に大礼服の制度を設け、国を代表するリーダーや政治家たちは、公の場での正式な儀装として洋服を着用することに決めます。

大礼服着用人物



海軍員

本文見本
70%に縮小

横一行



【3】小学生にまで普及した学生服

学校制服が誕生したのは、ヨーロッパの学生服の影響を受けることが多くありませんでしたが、時代がくだるにつれ、だんだんと小学生にまで学生服やセーラー服が普及していきます。小学校では、最初に男や女も同じような服装を着たりしていましたが、徐々に男女別の服装を着るようになります。その結果、学校に特有の服装が生まれ、それが社会でも受け入れられるようになります。

ヨーロッパの学生服は、冬はコート、夏はシャツと短パンというスタイルが主流でしたが、日本では冬はセーター、夏は半袖シャツというスタイルが主流になりました。これは、日本の気候や文化の違いによるものです。



小学校の児童写真



28

した。

学生服をたくさん着たいのは、純粋な憧れという気持ちです。もともと洋服を身につけていたのが、明治時代の開国から、西洋文明がもたらした学生服の流行はじまりました。明治時代の開国から、西洋文明がもたらした学生服の流行はじまりました。明治時代の開国から、西洋文明がもたらした学生服の流行はじまりました。



学生服の正装



29



30

本文見本
45%に縮小

【3】モデルは天皇・皇后のファッション

明治時代のファッションには、天皇と皇后のファッションが重要な役割を果たしました。彼らのファッションは、日本のファッションに大きな影響を与えました。彼らのファッションは、日本のファッションに大きな影響を与えました。

明治6年(1873)に制定された洋服では、天皇の服装は軍服、皇后の服装は西洋の服装が主流になりました。これは、西洋文明の流入によるものでした。

天皇の服装は軍服、皇后の服装は西洋の服装が主流になりました。これは、西洋文明の流入によるものでした。

天皇の服装は軍服、皇后の服装は西洋の服装が主流になりました。これは、西洋文明の流入によるものでした。



天皇の服装



皇后の服装

本文見本
45%に縮小

31